

令和7年度第2回 市長と気軽にテーマトーク（市政懇談会） 要旨

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 日時 | 令和8年3月15日（日）午後4時から午後5時30分まで |
| 2 | 場所 | 中央公民館 第1・第2会議室 |
| 3 | 出席者 | <p>(1) 市 市長、総合政策部長、行政経営部長、危機管理監、消防長、消防次長、危機管理課（課長ほか2人）、広報ブランド推進課（課長ほか2人）、秘書課（課長ほか2人）</p> <p>(2) 参加者 16人（総合防災訓練等参加団体、防災関係団体、町会・自主防災会）</p> |
| 4 | テーマ | 「佐野市の防災」 |

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 市職員自己紹介・進め方の説明
- 4 市政に関する説明（市長から）
- 5 参加者自己紹介・意見交換

○5 意見交換における質問・回答等一覧

| 番号 | 参加者の質問・意見 | 市の回答・意見 |
|----|---|--|
| 1 | <p>防災訓練を見ている、折り畳み式のリヤカーは災害時でもそれ以外の時でも有効だと感じている。12万円くらいするそうだが、それに車椅子が乗るかを検証していただけるとありがたい。</p> <p>私の町会ではリヤカーを持っているが車椅子を常備していない。自主防災会の会合のときにでも、車椅子を手配いただけるならやってみたいと思う。</p> | <p>（市長） 前向きなお話をいただいた。一方で、車椅子をリヤカーに載せて良いかということも考えなくてはならない。ただし、平常時と非常時は異なり、今のお話は非常時を想定した話。阪神大震災のとき、非常時だから50ccのバイクに4人乗りしていても警察は止めず、軽トラの荷台に何人乗っていても同様だった。危機管理課は、リヤカーと車椅子について、非常時はどう考えるか。</p> <p>（危機管理課） 普段車椅子を使っている方は、避難のときもそれを使うだろう。車椅子に乗る暇もない場合、直接人をリヤカーに乗せるケースもあるかもしれない。車椅子をリヤカーに</p> |

| | | |
|---|---|---|
| | | <p>乗せる状況を想定したことがないので即答は難しいが、その場その場の状況に応じて判断していかなければならないのが災害対応である。車椅子を含め、資機材の貸与等には協力させていただくので、要望があったら連絡をほしい。</p> <p>(市長)</p> <p>行政だけで進めると安全が重視されすぎて、非常時想定訓練の妨げになりかねない。必ず地域の町会と一緒に進めてほしい。</p> |
| 2 | <p>防災訓練に参加して良かったことは、界地区5町会で横の交流が生まれたこと。それまではつながりがなかったが、危機管理課の皆さんにいろいろ教えていただき、災害時の協力に向けて防災訓練で横の連携のきっかけをいただけたのが、非常にありがたかった。</p> | <p>(市長)</p> <p>自主防災組織や個々の取組も大事だが、地域で連携することで見えなかった部分が見えることもあると思う。お互いの顔が見えることで、自助から共助の取組が進むのではないか。</p> |
| 3 | <p>佐野市ではトイレトレーラーを導入した。非常に良いものだと思う。使わないに越したことはないが、災害時には清潔なトイレとして活用でき、有意義だと思う。この運転は誰がするのか。</p> | <p>(危機管理課)</p> <p>職員が運転する。8人が牽引免許を取得した。遠方派遣の場合は業者に委託することもあるかもしれないが、基本は職員が運転し、設置して牽引車で帰って来るという想定。</p> |
| 4 | <p>イオンモール佐野新都市としては、危機管理課などと準備を重ね、無事に終了し満足いく結果が得られたと考えている。また、参加者の意見を聞いて、大変良かったと感じている。当社は地域の安全安心に貢献したいので、何かあれば言ってほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>イオンさんとは包括連携協定を結び、福祉や教育、DXなど幅広い分野で連携している。館内には夜8時まで開いている行政窓口も設置した。イオンさんをお願いする役割も大きくなるので、今後も連携を深めたいと思う。</p> |
| 5 | <p>今回の防災訓練では、多くの職種の方が参加し、それぞれ参考になることが多かったと思う。我々も災害の経験から医療チームを作っているが、孤立した組織では救助活</p> | <p>(市長)</p> <p>国の防災訓練で首長としての役割について意見交換したことがあり、首長としてのスキルや判断力を確かめられる場面もあ</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | <p>動には限界がある。互いの事情を理解し、連携することが重要だと今回の訓練で改めて痛感した。このような大きな訓練を通じて、組織間の交流に焦点を当てて再び開催してほしい。</p> | <p>った。首長も皆様との連携の中で訓練を重ねていく必要があるので、消防団や女性防火クラブとの関わりが大きくなっていくと思う。</p> |
| | <p>防災訓練では、自衛隊と協力して患者の救出に協力した。来年度の県の総合防災訓練は実動型になると聞いているが、佐野市でも実動型訓練を取り入れてほしいと思っている。市長から『より実践的な非常訓練等を行う』と聞き、心強い限り。訓練を通して顔の見える関係を築いていくことが重要なので、訓練実施後は必ず振り返りを行っていただきたい。</p> | |
| 6 | <p>今回の防災訓練では、消防団は出動要請に基づいて参加したが、消防団員は普段、自助・共助を担う一般の方々である。大きな訓練に多くの方々に関わってもらえることは、大変ありがたいと思った。地元の皆さんとの関わりが中心の消防団にとって、他の機関との連携を確認する良い機会となった。消防団は基本的に消防長や本部の指令を受けて動く組織だが、訓練を受けていても一般人なので、消防署職員や警察官、自衛隊員などプロの方とどう連携をすれば良いかを考える機会にもなった。</p> | <p>(消防長) 大きな災害時の他の団体との連携については、相互応援協定などを基軸に、市や消防本部と共に組み立てを行った上で実務に当たる形になる。実際の発災時には臨機応変な対応が求められるが、その際は各団体と集まって協議し、分担などを進めていくことになる。</p> <p>(消防長) 消防指令センターが足利市と合同で「とちぎ南西消防指令センター」となる。3月10日に完成式を行い、3月17日から仮運用が開始され、本運用は4月1日となる。システム的には「ライブ119」といって、119番通報者からの映像取得が可能となるようなシステムが新たに導入となる。言葉で説明しづらいことを、映像によって消防職員が判断し、必要に応じ現場に指示できるような大変すばらしいシステム。今までより救命率などの向上が期待できるのではないかと考えている。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | | <p>(市長)</p> <p>救急車両が現場到着前から状況を把握し、救急隊の判断で救命に必要な指示を最速で出せる。火災出動時についても、通行止めがあった際に迂回の連絡が容易に出せる。</p> |
| 7 | <p>災害時の連絡の取り方について教えてほしい。スマホを活用して連絡を取るかと思うが、災害時にスマホは使えるのか。規模によって回線に制約が生じることはあるのか。</p> | <p>(危機管理課)</p> <p>基地局が被災等した場合、スマホは使えない。現在、市では衛星やアプリを使って連絡手段を保つ通信機材があるので、孤立可能性集落への配備等を検討している。一方、皆さんの一般回線は、通信会社の対応を待ったり、移動基地局となる自動車の派遣を要請したりということになるかと思う。</p> |
| 8 | <p>孤立してしまうと、移動基地局となる自動車も来られないのではないか。</p> | <p>(危機管理課)</p> <p>来られなくなるので、孤立可能性集落には衛星通信機材を設置して、そのルーターという機器から通信をするという青写真を描いている。</p> <p>(市長)</p> <p>そういった資機材をどのエリアに購入・配備するのかということになるが、167 町会全部に入れるわけにはいかないなので、エリアを決めて配備することを考えている。</p> <p>(行政経営部長)</p> <p>佐野市は孤立可能性集落が非常に多いということで、その対策を令和8年度・9年度で行いたいと考えている。県の調査結果に市の独自調査を併せて、孤立可能性の高い地域からまず令和8年度に実施を図り、残りは9年度にと考えている。通常のスマホが使えなくなったときに、衛星波で使えるようなスマホのようなものを順次入れていきたいと思う。</p> <p>(市長)</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | | 個人の物がつながらなくても、外部との連絡を可能にする方策を図っていく。 |
| 9 | 災害や火災はいつ起きるか分からないので、日頃の心がけや準備で被害を食い止めることができると思う。訓練は重要だが、町会からの協力が得られない場合もあり得る。また、災害時の備えとして、トイレ用の凝固剤を公民館に設置しておくことも検討してほしい。 | (危機管理課) 避難所ごとに1から3の簡易トイレや凝固剤を設置しているが、それだけでは間に合わないので、今後計画的に増やしたり、備蓄できるようにしたい。トイレトレーも1台4室しかないので、他の方策も拡充していく。 |
| 10 | 女性消防団員は広報や救命講習が主な役割となっているが、発災時に備えてもっと実践的な訓練を行うべきではないかと思ひ、そこを課題と感じている。 | (消防長) 消防団の再編計画を策定し、再編の方向で動いている。その中で、女性団員を独自の部として編成し、自分たちの考えで積極的に動けるような仕組みを考えている。 |
| 11 | 自衛隊には、退官後、予備役や隊友会のような組織があると聞くが、消防では類似した組織はないのか。 | (消防長) 現在、消防職員のOBの組織は設けてないが、防災士会に入って貢献している方がいる。消防団について国では『機能別消防団員』制度の導入を進めており、今後取り入れる方向で検討している。 (市長) 消防団OBの方々には『友の会』がある。現状では親睦会的なものだが、今後こういう団体が一定の役割を担い、行政がバックアップする方法も考えられる。ただし、会の方々の意思が重要であるが。 |
| 12 | 総合防災訓練には参加できなかったが、佐野短大には防災サークルがあり、ワークショップで防災関係の取組を行った。例えば、ゴミ袋でポンチョを作るような簡単で実践的なもの。また、ビジネスファッションフィールドと協力し、ペットボトルやクッションで救助される人形を作り、訓練で担架で運ぶ際に役立った。行政は巻き込まず、先生と学生での取組。 | (市長) 学内でそうした取組をするのは意義深いと思う。行政とは全く異なる視点での取組なので、それを見させていただくことで気づきにもつながる。 |

| | | |
|----|--|---|
| 13 | トイレレーラーは個室が4つか。水はどれくらい入って、何回くらい使えるのか。 | (市長) 個室は4つ。水は500リットル入り、1200回から1500回使用可能となっている。 |
| 14 | 5月の孤立可能性集落の実動訓練に参加し、ドローンで水を運搬する様子を見た。自分の集落が孤立した際、あのドローンが来てくれたら助かると感じた。 | (総合政策部長) 現在、市内では国の補助金を活用して民間企業がドローンで商品を運ぶ実証実験を始めた。今は流通目的だが、将来的には飲用水や医薬品の運搬にも活用が広がるのではないかと考えている。 |
| 15 | 私の住む集落は孤立可能性集落であり、災害時には自衛隊のヘリコプターの助けが必要になるかもしれない。学校の校庭をヘリポートに使えるかもしれないが、そこへ行くにも距離がある。緊急時のヘリポートの構想はあるのか。 | (危機管理課) 県の孤立可能性集落の調査で、30㎡、50㎡、100㎡四方の空き地があるか確認する項目があり、地図上で確認し、回答している。来年度の調査では、そのくらいの土地を災害時に貸してもらって運用を考えている。整備の課題もあるが、まずは土地の確保について把握することから始めたいと思う。 (危機管理監) 元自衛官として申し上げるが、いざとなれば、ヘリポートや空き地がなくても救助等できるので、安心してほしい。 |
| 16 | 市長が言うように『共助』はとても大切だが、市民の理解が乏しいと感じる。災害時に公的機関に全てを任せるのは難しいと認識すべき。市民に共助の重要性を伝える研修会や講習会を積極的に行ってほしい。 防災士のこれまでの活動は避難所運営が主体で、避難してきた市民に『お願い』する立場でしかなかった。市民がどれだけ協力するかが重要なポイント。防災士の研修では、避難所の部屋割りをどうするか、どの人をどの基準でどの優先順位で配置するか非常に悩ましい。実際に避難所を開設してみないと分からないが、避難した方に協力をお願いするのが重要になると思っている。 | (市長) 避難所でのいろいろな役割が防災士にはあるということだが、平常時から避難所運営ゲーム(HUG)などを通じて訓練を積むことが良いと思う。我々もそういう取り組みを積極的に行っていくので、防災士の皆様の協力をお願いしたい。 |

| | | |
|----|--|--|
| 17 | | <p>(危機管理監)</p> <p>昨年の総合防災訓練では、3回調整会議や現地での予行を行い、見た感じはうまくいったが、その過程で関係者が集まって議論を重ねたことが非常に面白く、良い経験となった。実際の災害でも同じことが起こる。発災直後は市の対策本部が動けないが、皆が集まり会議をすることで状況が動き出し、課題を1つ1つ解決できる。このように議論することが大切であり、現場の意見を取りまとめて対応することが重要となる。地域のリーダーとして問題に取り組む際、皆さんが声を上げて呼びかければ、日本人は同調圧力で行動する。東日本大震災でもリーダーが呼びかけて逃げた地域は助かっている。リーダー同士で分担して協力すれば初動の壁を乗り越えられる。「公助」の部隊は私が割り振るが時間がかかるため、発災初動は皆さんが主役となる。本日は貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。引き続き佐野市の防災行政にご協力をお願いしたい。</p> |
|----|--|--|

※参加者の質問・意見、市の回答・意見ともに、要約して掲載しています。